



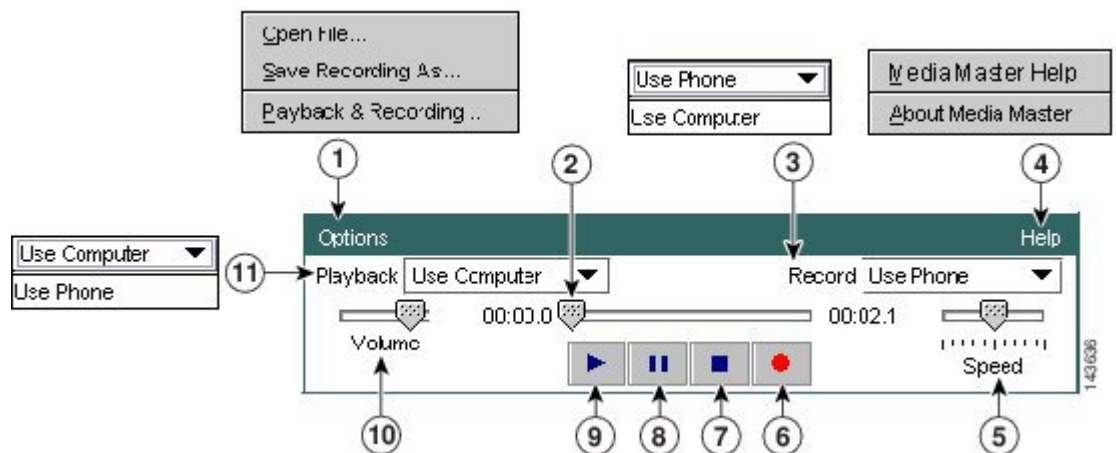
# Messaging Assistant Web ツールでの Media Master の操作 (リリース 11.0(1) 以前のみ)

- [Media Master の概要 \(1 ページ\)](#)
- [録音でのサウンドファイルの使用 \(2 ページ\)](#)
- [再生デバイスと録音デバイスの変更 \(2 ページ\)](#)
- [Media Master のキーボードショートカット \(3 ページ\)](#)

## Media Master の概要

Media Master は Messaging Assistant Web ツールのさまざまなページに表示されます。各コントロールをクリックすると、電話またはコンピュータのマイクとスピーカを使用してメッセージを録音したり、録音メッセージを再生したりできます。

図 1: Messaging Assistant の Media Master



1	オプションメニュー	7	停止
2	録音/再生の経過表示	8	一時停止
3	録音リスト	9	再生

4	ヘルプ (Media Master バージョン情報)	10	音量コントロール
5	再生速度コントロール	11	再生リスト
6	録音		

## 録音でのサウンドファイルの使用

Media Master の [オプション (Options) ]メニューを使用すると、録音で別のサウンド (WAV) ファイルを使用できます ([Media Master の概要 \(1 ページ\)](#) の図の 1 を参照)。

使用できるオプションは次のとおりです。

オプション	説明
ファイルを開く	コンピュータに保存されている WAV ファイルを開き、選択された再生デバイスで再生します。
名前を付けて保存	録音を WAV ファイルとして指定した場所に保存します。

## 再生デバイスと録音デバイスの変更

Messaging Assistant Web ツールでは、録音と再生に使用するデバイスを選択できます。

再生デバイス ( <b>Playback devices</b> )	<ul style="list-style-type: none"> <li>電話 : Cisco Unity Connection からユーザにコールが発信され、ユーザは電話の受話器またはスピーカフォンのスピーカを通じて音声を聞き取ります。</li> <li>コンピュータのスピーカー (使用可能な場合)。</li> </ul>
録音デバイス ( <b>Recording devices</b> )	<ul style="list-style-type: none"> <li>電話 : Cisco Unity Connection からユーザにコールが発信され、ユーザは電話の受話器またはスピーカフォンのマイクを使用して音声を録音します。</li> <li>コンピュータのマイク (使用可能な場合)。</li> </ul>



**ヒント** 録音の音質が最もよくなるのは、電話機を使用する場合です。

Media Master に対するアップデートは、コンピュータごとにユーザ単位で保存されます。また、別のコンピュータ (自宅のコンピュータなど) も使用して Media Master にアクセスする場合は、2 台目のコンピュータの Media Master 設定も更新する必要があります。

**ステップ 1** Messaging Assistant で、[設定 (Preferences) ]メニューの [個人 (Personal) ]を選択します。

ステップ2 [設定 (Preferences) ] ページの [録音名 (Recorded Name) ] フィールドで、[再生/録音 (Play/Record) ] を選択して Media Master を表示します (該当する場合)。

ステップ3 Media Master の [オプション (Options) ] メニューで、[再生と録音 (Playback & Recording) ] を選択します。

ステップ4 適切なデバイスを設定します。

オプション	説明
再生デバイス	電話またはコンピュータを選択します。
録音デバイス	電話またはコンピュータを選択します。

ステップ5 再生デバイスまたは録音デバイスとして電話を使用する場合は、[アクティブな電話番号 (Active Phone Number) ] セクションでプライマリ内線電話番号を選択するか、別の電話番号または URI を入力します。この番号または URI は、電話を使用して再生または録音を行うときに Connection がユーザにコールを発信する番号になります。

アクティブな電話番号を設定すると、Media Master の再生リストと録音リスト ([Media Master の概要 \(1 ページ\)](#)) の図の 11 と 3) でデバイスを選択できるようになります。これらのリストを使用するとデバイスを簡単に変更できます。この選択は再度変更するまで Media Master を含むすべての Messaging Assistant ページで保存されます。

ステップ6 [OK] を選択します。

## Media Master のキーボードショートカット

Alt + O キー : オプションメニューが開きます。

